

氏 名 吉野生季三
学位記番号 医博甲第267号
学位授与年月日 平成18年3月20日
審査委員 主査 教授 竹下 治男
副査 教授 富岡 治明
副査 教授 宮崎 康二

論文審査の結果の要旨

Reg は膵臓の再生過程において発見された増殖因子として知られている。これまでに申請者らのグループは、Reg が膵臓のみならず胃においても発現しており、胃粘膜の損傷修復に関わる因子であることを動物モデルで明らかにしてきた。しかしながら、ヒト胃粘膜における Reg に関する研究報告はなく、今回申請者らは、ヒト胃粘膜組織を用いて Reg の発現を明らかにするとともに、*Helicobacter pylori* (*H. pylori*) 感染との関連について検討をおこなった。臨床材料は内視鏡検査時に得られた生検組織が用いられた。免疫染色では、Reg は胃粘膜上皮の内分泌細胞と主細胞に同定され、Western blot 法によって Reg の発現量が *H. pylori* 感染や組織学的な炎症の程度と有意な相関を示すことが明らかとなった。また、生検組織中の interleukin (IL)-8 含有量が *H. pylori* 感染例で有意に増加していることが EIA 法で示されたため、IL-8 による Reg の発現調節についての検討が *in vitro* でおこなわれた。胃粘膜上皮細胞株である ECC10 を IL-8 で刺激すると、濃度依存性に Reg 蛋白の発現が増強され、この結果はルシフェラーゼアッセイによる転写レベルでの検討によって裏付けられた。本研究は、*H. pylori* 感染胃粘膜における Reg の発現とその調節機構を明らかにしたはじめての報告であり、今後 *H. pylori* 関連疾患の病態を考える上で重要な新知見と考えられ、学位授与に値する。